

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科  | 看護学科             |                     | 科 目 区 分   | 基礎分野 | 授業の方法                    |    | 講義  |        |
|--|------------------|---------------------|---|------|--------------------------|----|-----|--------|
| 科 目 名  | 教育学              |                     | 必修/選択の別   | 必修   | 授業時数(単位数)                | 30 | (1) | 時間(単位) |
| 対 象 学 年  | 1年生              |                     | 学期及び曜時間   | 後期   | 教室名                      |    |     |        |
| 担 当 教 員  | 原 安利             | 実務経験と<br>その関連資格     |   |      |                          |    |     |        |
| 《授業科目における学習内容》<br>人間の生涯発達の特徴から、より良く生きることができるように育成することがねらいである。<br>生きていく環境や他者との相互作用を学ぶ。また、効果的な学習を学びながら学生自身が効果的にトレーニングできる課題を持ち<br>成果を発表する。学生がプロセスから成果までを発表する演習なども取り入れ、主体的学習の能力を高める。さらに、看護実践に応用さ<br>せ。 |                  |                     |   |      |                          |    |     |        |
| 《成績評価の方法と基準》<br><br>小テスト、出席並びに課題提出状況、筆記試験で総合的に評価する。  |                  |                     |   |      |                          |    |     |        |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》<br><br>系統看護学講座 基礎分野 教育学 医学書院<br>子供の社会力、学力を育てる  |                  |                     |   |      |                          |    |     |        |
| 《授業外における学習方法》<br><br>その授業の内容について教科書の該当単元を読むとともに、メディアの内容で関連のある情報などを収集し考えを深める  |                  |                     |   |      |                          |    |     |        |
| 《履修に当たっての留意点》  |                  |                     |   |      |                          |    |     |        |
| 授業の<br>方法  | 内 容              |                     |   | 使用教材 | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容    |    |     |        |
| 第<br>1<br>回  | 講<br>義<br>形<br>式 | 授業を<br>通じての<br>到達目標 | 1. 教育学を学ぶ意義について述べるができる  | 教科書  | 該当単元を読んで自分の<br>考えをまとめておく |    |     |        |
|  |                  | 各コマに<br>おける<br>授業予定 | 看護を学ぶにあたって、何故教育学を学ぶ必要があるのかを教育と看護の両概念の比較を通して考察する。  |      |                          |    |     |        |
| 第<br>2<br>回  | 講<br>義<br>形<br>式 | 授業を<br>通じての<br>到達目標 | 1. 現代の特徴と教育をめぐる問題について知り、自分の考えを述べる<br>ことができる   | 教科書  | 該当単元を読んで自分の<br>考えをまとめておく |    |     |        |
|  |                  | 各コマに<br>おける<br>授業予定 | 文化伝達としての教育のあり方から、教育の原理を確認<br>p.6～23までを班でぶんたんしてまとめてくる。<br>教科書だけでなく参考文献も探してB41枚以上にまとめてくることを指<br>示 |      |                          |    |     |        |
| 第<br>3<br>回  | 講<br>義<br>形<br>式 | 授業を<br>通じての<br>到達目標 | 1. 現代の特徴と教育をめぐる問題について、ディスカッションし考察<br>を深め記述できる   | 教科書  | 該当単元を読んで自分の<br>考えをまとめておく |    |     |        |
|  |                  | 各コマに<br>おける<br>授業予定 | 前回指示した課題を使って発表と質疑応答。<br>質疑はランダムに生徒たちに当てる。   |      |                          |    |     |        |
| 第<br>4<br>回  | 講<br>義<br>形<br>式 | 授業を<br>通じての<br>到達目標 | 1. レポート書式にそってレポートを書ける   | 教科書  | 該当単元を読んで自分の<br>考えをまとめておく |    |     |        |
|  |                  | 各コマに<br>おける<br>授業予定 | 参考文献をつけたレポートの書き方も指導   |      |                          |    |     |        |
| 第<br>5<br>回  | 講<br>義<br>形<br>式 | 授業を<br>通じての<br>到達目標 | 1. LGBTについて理解を深め、自分の考えを述べるができる  | 教科書  | 該当単元を読んで自分の<br>考えをまとめておく |    |     |        |
|  |                  | 各コマに<br>おける<br>授業予定 | 11月6日の残りの発表と総括<br>LGBTの問題をからめて医療従事者として教育的現実はどう向き合<br>うかを考える。                                    |      |                          |    |     |        |

| 授業の方法 |      | 内 容         |   | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容    |
|-------|------|-------------|---|------|----------------------|
| 第6回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 1.教育カリキュラムの理論を知り、また自分自身の学びの目的について記述できる  | 教科書  | 該当単元を読んで自分の考えをまとめておく |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 教育カリキュラムの理論。<br>病院での患者との関わりを踏まえる<br>課題レポート①この学校に入った理由(800字以上)<br>②この学校で学ぶ内容(自分で考えて教科を整理)                |      |                      |
| 第7回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 1.カリキュラムの種類を知り、学びのあり方について述べるができる  | 教科書  | 該当単元を読んで自分の考えをまとめておく |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 教科書p.80～カリキュラム構成3つの分け方を押さえる<br>「教科書で教える」と「教科書を教える」の違いと意義についても確認<br>教師の意図せざる教育上の作用としてのヒドゥンカリキュラムについても触れる |      |                      |
| 第8回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 1.教材のあり方について知り、健康教育について適用を述べるができる   | 教科書  | 該当単元を読んで自分の考えをまとめておく |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 教材解釈と教師にとって大切なことについて説明。「共に」という視点を持つことは<br>教師としても生徒同士のつながりとしても肝要である。                                     |      |                      |
| 第9回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 1.学力観について知り、看護場面への適用について述べるができる   | 教科書  | 該当単元を読んで自分の考えをまとめておく |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 学力と学力観および評価の話医療と結びつけて話す。<br>読み書き算の3R'sの重要性と関心意欲態度の評価をどうするかを考えつつ、看護師として、それぞれの学力観と現場でどう当てはめるか考えた          |      |                      |
| 第10回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 1.子供の発達段階と学習との関連を知り、看護場面への適用について述べるができる   | 教科書  | 該当単元を読んで自分の考えをまとめておく |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 子供理解と生活指導において、指導は相手である子供の理解の視点を持たなければ、単純に押柄な営みになることを確認  |      |                      |
| 第11回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 1.職業としての教師について考え、専門職としてのあり方について述べるができる  | 教科書  | 該当単元を読んで自分の考えをまとめておく |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 教師という職業の難しさを医療従事者としての職業的な難しさと照らし合わせ考えた。   |      |                      |
| 第12回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 1.教育的対話について理解し、看護への適用について述べるができる  | 教科書  | 該当単元を読んで自分の考えをまとめておく |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 教育的対話の概念について説明、患者を受身で終わらせない看護のあり方の考察を行った。   |      |                      |
| 第13回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 1.主体的な学びについて考察し、自分の考えを述べるができる   | 教科書  | 該当単元を読んで自分の考えをまとめておく |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 映画「3idiots」を鑑賞しながら、自ら学び主体的に行動することはどういことか考える。  |      |                      |
| 第14回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 1.創造的な知識とはどのようなことか考察し、自分の考えを述べるができる   | 教科書  | 該当単元を読んで自分の考えをまとめておく |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 映画「3idiots」後半を鑑賞しながら読み込みで終わらない知識の持ち方を考える。   |      |                      |
| 第15回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 1.教育学における知見を看護場面に適用するための自分の考えを述べるができる。  | 教科書  | 該当単元を読んで自分の考えをまとめておく |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | これまでの教育学に関する知見をまとめる   |      |                      |